

2011年11月17日

報道関係各位

第10回JCF学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭
ゼネラルプロデューサー 額賀 剛治



「第10回記念開催 JCF 学生映画祭 in Tottori」の

3つのコンペティション部門

<学生映画部門><学生アニメ部門><鳥取県観光CMアイデア部門>

応募総数451作品の中から入選作品26作品が決定。

映画祭会場での審査審査上映でグランプリが決定します！

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、本年いよいよ記念すべき第10回目の開催を迎えます。

記念大会となる本年のコンペティションプログラム3部門（学生映画、学生アニメ、鳥取県観光CMアイデアコンテスト）には、合計で451作品の応募を全国から頂き、この度入選作品が決定いたしました。

「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」は、11月19日（土）・20日（日）の両日、鳥取県米子市のコンベンションセンター（BIGSHIP）で開催され、各部門の入選作品の中から、各部門審査員による最終審査により、グランプリが決定いたします。ガイナレーソーラーpresents 学生映画 AWARDは、高 秀蘭（映画プロデューサー）、学生アニメ AWARDは、赤井 孝美氏（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）、鳥取県presents 鳥取観光CMアイデア AWARDは、西尾 浩一氏（鳥取県観光政策課長）が、それぞれ審査委員長を務めます。

コンペティション各部門のグランプリ受賞者には、それぞれスカラシップ制度での新作制作支援等が予定されており、本映画祭のキャッチフレーズの<学生よ！夢を忘れていないか！>に相応しく、本学生映画祭を通じて鳥取から、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指してまいります。

<第10回JCF学生映画祭 in Tottori 入選作品>

■ガイナレーソーラーpresents 学生映画 AWARD

・応募総数：234作品

・入選作品（10作品）

多賀世帆（多摩美術大学） 『ASUNARO』（2分54秒）

島根大学プロジェクト（島根大学） 『BIRTHDAY』（6分20秒）

齋藤弘明（早稲田大学） 『HOLDUP』（1時間10分）
 水川史也（立命館大学） 『ある部屋の重さ』（14分59秒）
 橋本真紀子（多摩美術大学） 『かみのげのみか』（5分13秒）
 杉澤玲奈（城西国際大学） 『ポーカークフェイス』（15分）
 坂井晶子（武蔵野美術大学） 『三年前、夏の日』（38分）
 渡辺茉琳（東洋大学） 『盗憶』（17分）
 磯龍介（多摩美術大学） 『入魂』（1時間4分）
 片岡暁（鳥取大学） 『♂』（30分）

<作品イメージ>



・審査員

審査委員長：高 秀蘭（映画プロデューサー）

審査員：藤原 洋（株式会社インターネット総合研究所所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役）

審査員：大和田 廣樹（映画プロデューサー）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭フェウンダー）

■学生アニメ AWARD

・応募総数：102作品

・入選作品（10作品）

新保綾乃（武蔵野美術大学） 『Dreamers』（4分24）

川岸瑠次（大阪コミュニケーションアート） 『GASUO'S MOVIE いすとり編』（5分）

酒井学人（デジタルハリウッド） 『selfish』（5分14秒）

白石慶子（東京藝大） 『いないいないばあば』（5分15秒）

今林由佳（東京藝大） 『おにしめおたべ』（3分44秒）

OTAMIRAMS（東京藝大） 『めまくら』（9分52秒）

沼田友（多摩美術大学） 『雨ふらば風ふかば』（29分）

山北麻由子（東京藝大） 『今日あったこと』（38分）

井上有希（宝塚造形芸術大学） 『街を背負う男』（10分30秒）

薩摩浩子（東京藝大） 『雪山のライチョウ』（5分19秒）

<作品イメージ>



・審査員

- 審査委員長：赤井 孝美（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）
- 審査員：高 秀蘭（映画プロデューサー）
- 審査員：播間 光広（NPO法人喜八プロジェクト監事）
- 審査員：耶雲監督（第2回JCF学生映画祭グランプリ受賞監督）
- 審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭ファウンダー）

■鳥取県presents 鳥取観光CMアイデア AWARD

- ・応募総数：115作品
- ・入賞者（6チーム）

- 岡崎 洋志（同志社大学 法学部 3年）
- 大瀧 雅貴（関西大学 商学部 3年）
- 吉田 美織（立命館大学 政策科学部 3年）
- 山本 翔也（鳥取大学 工学部 3年）
- 石本 玄（鳥取大学 農学部 2年）
- 浅沼 貴仁（鳥取大学 農学部 2年）

・審査員

- 審査委員長：西尾 浩一（鳥取県観光政策課長）
- 審査員：中村 圭一（鳥取県観光連盟専務理事）
- 審査員：耶雲監督（第2回JCF学生映画祭グランプリ受賞監督）
- 審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭ファウンダー）

<第10回JCF学生映画祭 in Tottori」スカラシップについて>

■ガイナーレソーラーpresents 学生映画 AWARD

学生映画の日本一を競う学生映画部門は、鳥取県内で、太陽光パネルの生産、販売を行う株式会社ナノオプトニクス・エネルギー殿のご協賛を得て、「ガイナーレソーラーPresents 学生映画AWARD」として開催いたします。グランプリ受賞者は、スカラシップとして、地元のサッカーJ2チーム・ガイナーレ鳥取の選手を起用し、同社のTVCMの制作を担当することが決定いたしました。また、入賞者（12名）は、サンテレビなどの西日本のU局と

鳥取県の地元放送局で、2012年1月～3月に週1回放送を予定している、ミスキャンパスがナビゲーターを務める学生向け情報番組（30分番組）の監督に起用される予定です。

■学生アニメ AWARD

「マンガ王国」を掲げる鳥取県での開催となることから、未来のアニメクリエイターを発掘すべく開催される、「学生アニメ AWARD」の入賞者は、中国のアニメ国際展覧会で作品発表されるとともに、上記のTV番組のタイトルバックの制作監督としてデビューいたします。

■鳥取県presents 鳥取観光CMアイデア AWARD

鳥取県の観光CMアイデアを募集する「鳥取観光CMアイデア AWARD」のグランプリ作品は、「学生映画AWARD」の入賞者の中から選出された学生映画監督により映像化され、鳥取県の公式観光CMの一つとして採用される予定であり、学生の手による地域活性化への貢献を目指して参ります。

<第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori 開催概要>

- 名称：第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori
<http://jcf.jpn.com/>
- 開催日時：2011年11月19日（土）～11月20日（日）
- 開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL.0859-35-8111
- 主催：JCF 学生映画祭実行委員会
- 実行委員：実行委員長／高 秀蘭（映画プロデューサー）
特別顧問：平井 伸治（鳥取県知事）
特別顧問：野坂 康夫（米子市長）
特別顧問：中村 勝治（境港市長）
特別顧問：石田 耕太郎（倉吉市長）
特別顧問：竹内 いさお（鳥取市長）
特別顧問：藤原 洋（株式会社インターネット総合研究所所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役）
実行委員：木村 政雄（5L編集長）
実行委員：大和田 廣樹（映画プロデューサー）
実行委員：武内 英人（株式会社エフエム東京執行役員）
実行委員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP 代表取締役／JCF 学生映画祭フアウンダー）
ゼネラルプロデューサー：額賀 剛治（株式会社 JCF 取締役）
- 企画制作：株式会社 JCF
- 制作運営：JCF 学生映画祭運営事務局
- 協賛：株式会社ナノオプトニクス・エナジー、トヨタ自動車株式会社
- 協力：株式会社ナノオプト・メディア、NEWWAVE、GMHoldings 株式会社、ライフエンタテインメント、PHUUK、OverDriveDesign、ドリームキッド
- 特別後援：鳥取県
- 後援：米子市、境港市、倉吉市、鳥取市、鳥取大学、鳥取環境大学、朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、新日本海新聞社、BSS 山陰放送、

山陰中央テレビ、日本海テレビ、日本海ケーブルネットワーク、エフエム山陰、DARAZ FM、鳥取県商工会連合会、鳥取県商工会議所連合会、社団法人米子青年会議所、財団法人鳥取県文化振興財団、ガイナレ鳥取

● 行事内容

【1】学生コンペティションプログラム（映画・アニメ・CMのジャンルで、学生監督が競います。）

- (1)ガイナレソーラーpresents 学生映画 AWARD
- (2)学生アニメ AWARD
- (3)鳥取県 presents 鳥取観光CMアイデア AWARD
- (4)TOYOTA みんなのエコカー会議 × JCF 学生映画祭
大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード

【2】特別プログラム（10周年特別企画で様々な企画がございます。）

- (1)10周年特別プログラム 歴代JCF学生映画祭グランプリ受賞監督紹介
- (2)米子特別パートナープログラム

●入 場 料：無料（入退場自由）

<「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の1億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。）の10周年特別協賛企画として、1999年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の949団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟（Japan Club・Circle Federation）が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第1回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第1回から第3回までを夕張市で開催、第4回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第5回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初！畳の上で映画祭」を開催、2010年にLVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君（当時成蹊大学在学）を輩出しました。第6回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALLで開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第7回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007年、2008年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭2007・2008を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元NPO法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の2年間の活動の成果も残せましたので、いよいよ学生映画祭として本格的に再開すべく、記念すべき10回目の開催地として、「環境立県」を掲げるecoのまちである鳥取県での開催を実施いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-3 平河町伏見ビル9F 株式会社JCF内
第10回JCF学生映画祭 in Tottori 運営事務局
TEL. 03-3230-7770/FAX. 03-3230-7024
<http://jcf.jp.com/>